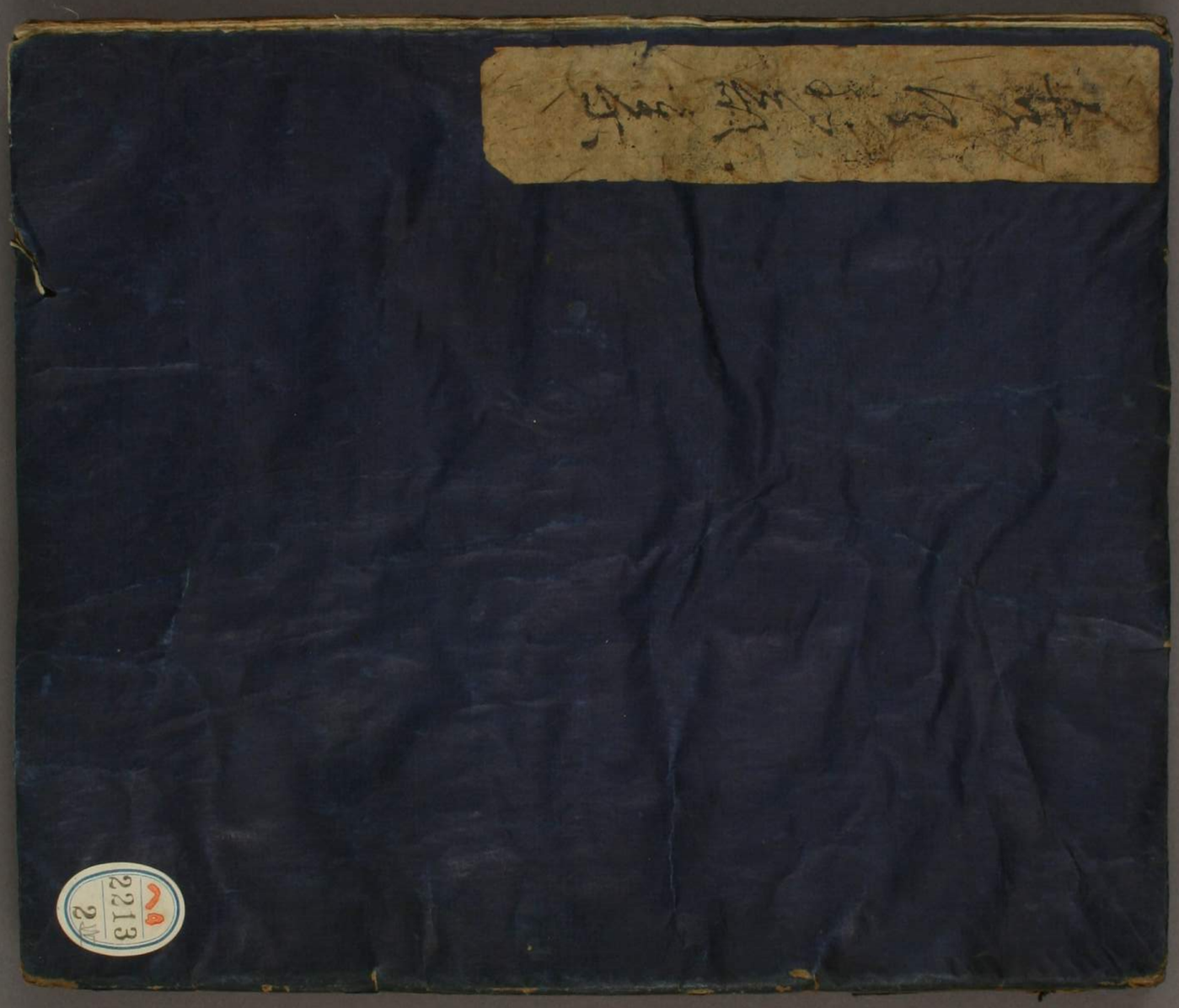
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



2213
2

古今和歌集巻第十一

東京帝國大學圖書之印

意考一

題しらず　よみ人しらず

郭公なくや五月のあやめぐさ
あやめもしらぬ恋もするかな

素性法師

藤原時昌

右原業平朝臣

奥山のそうせ

清原元輔

古今和歌集巻第十三

恋三

清原元輔

白川の流れの清き浦なれば
みるめの袖をいかで洗はん

平兼文

白川の流れの清き底ひなき
流れとともに君を見るかな

藤原たゝいへ

君とゝもにあかしつるかな

古今和歌集

伊勢

河原九太夫

乱初の

小野小町

伊勢

よみ人しらず

おもふとてそねのみなきわたるこゑありそうみの浦ならねども

中納言源のありまさのあそんの家の歌合に

ありそうみのうらかぜはやみしらなみのたちもまさりてやまとかたまし

同院

相坂のゆふつけ鳥もなきぬなりあけゆくそらの雲のうすきに

君こずはねやのとざしもさしながらあけゆくそらの月をこそみれ

伊勢

あふことのなぎさにおふるみるめこそかりにもかれぬ身をうらめしき

人心のうしみつ潮のさすままにうきてもたゆたふ我身なるかな

よみ人しらず

山ぢからなるこえのうちそふ

古今和歌集巻第十五

伊勢

みもの山いろこそ春のうしと思ふ
たつものうしと思ふ

雲林院のみこ

吹まよふ野風にたえぬ秋の色を
うつしもとめぬ小田

伊勢

小町

古今和歌集巻第十六

哀傷歌

[illegible]

時よみ[illegible]

小野[illegible]

[illegible]雨と[illegible]

[illegible]

深草の野辺の桜し心あらば
今年ばかりは墨染に咲け
藤原敏行朝臣

大江千里

古今倭歌集巻第十七

雑歌上

大原や

葉守の

神ぞ

五瀬

天津

しめ

藤原さこそ

藤原

三条の町

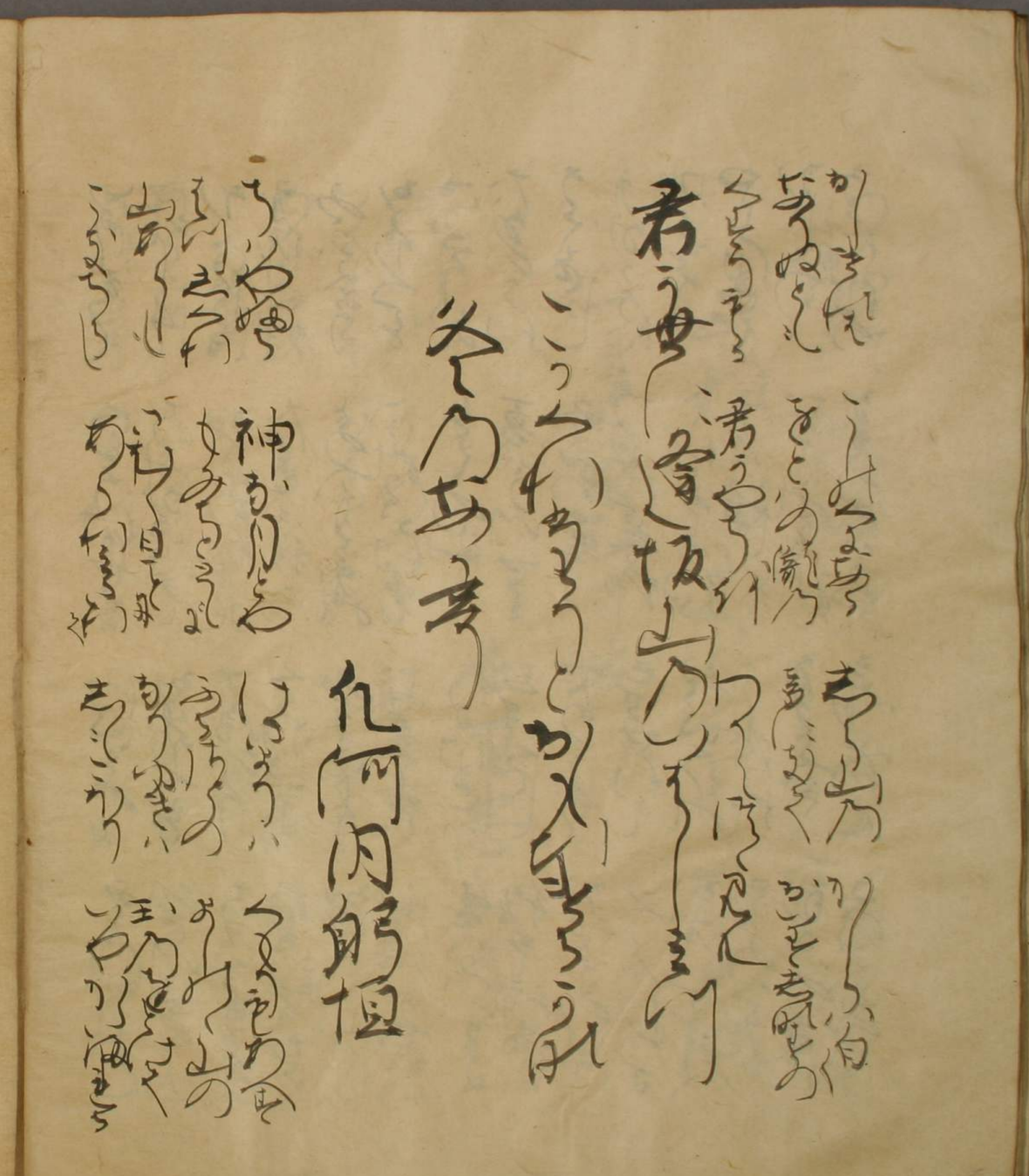
小野小町

初時より
京より
二除

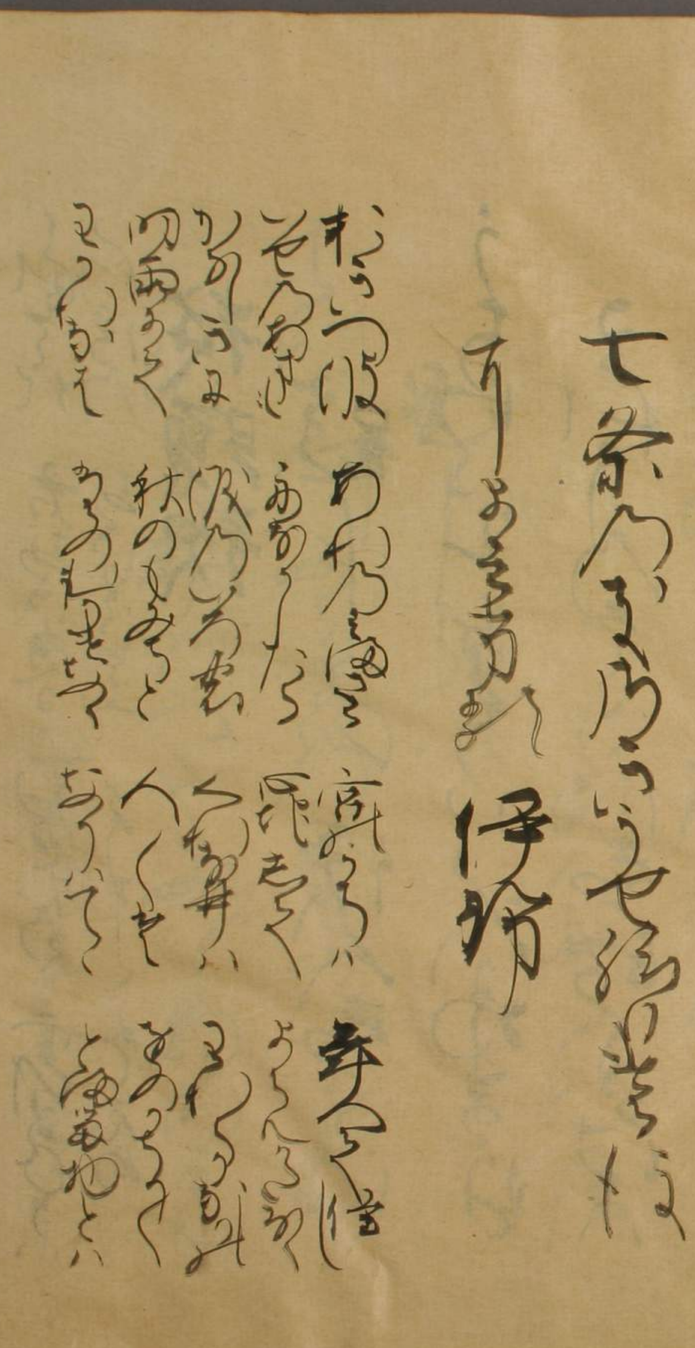
古今集巻十九

雑体

短歌



九州内船頭



七条乃う

伊勢

枕頭歌

小野小町

大補

古今和歌集巻第二十

巻第十

物名部

巻第十一

奥山の菅の根しきふる雪の
こゝろもしらでふみわくる哉
うめの花ちるまがきの雪の上に
なほまがひつる春の夜の月
春の夜の雨
ふるさとの花のにほひをかをるとて
たれかこゝろをうつしそめけん
かすみこめる山のかひより
春の夜の月
春の夜の雨
こゝろあらん人にぞ見せん

巻第十四

古今倫類集序　紀洪疇

夫和字者況日本
為思慮易通表示相喪感也
於言異聲手足者異
吟誰有〻詠〻德可〻黄帝物天
地感鬼神化人倫和夫婦莫宜

古今六帖有山辺赤人者奉和
天徳四年内裏歌合歌者歟
不絶久保時歌清濁不奏
温泉書無絶流泉涌異奏清濁
是孔子家主有如色々家説
為有為々使元令々々説
為古今詞々清故事為婦人

古状旧稿等自須
重而訂新書可
二十巻乞名曰古今集等
訂書候処長沢伝延引遅時伝
文暫く拙商遇和答
奥へ書面
再昌咲手

人々改没和歌不在断可千時
延喜五年歳次乙酉十八日
ら書之 管領序

古々ら二冊

近衛關白信尋ろ二ふて

当御所信尋ろ 古今